

# ステークホルダーとのコミュニケーションとパートナーシップ

アンリツはステークホルダーとのコミュニケーションを重視し、適切かつタイムリーな情報開示に努めています。またパートナーシップの構築を通じて、さまざまな社会課題の解決に向けた活動を行っています。



ステークホルダー	取り組みの状況	コミュニケーション機会の一例、関連サイト
<b>株主・投資家さま</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トップ層による海外投資家様向けのIR活動 証券会社主催のカンファレンス参加：11件 海外IRリモートロードショー：2件 合計121社(米州：32社、欧州：28社、アジア他：61社)の投資家と面談</li> <li>● 国内投資家228件、海外投資家181件の面談を実施</li> <li>● 株主・投資家の声を取締役会、経営戦略会議へフィードバックし、さらに幹部職向け社内イントラで周知</li> <li>● 統合レポートのさらなるブラッシュアップ</li> </ul>	<p>対象期間：2021年4月～2022年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 決算説明会</li> <li>▶ 株主総会</li> <li>▶ IR個別面談</li> <li>▶ 証券会社主催のカンファレンスへの参加</li> <li>▶ 統合レポートやWebサイトによる情報発信</li> <li>▶ 株主・投資家の声のトップ層へのフィードバック</li> </ul> <p><a href="#">WEB 投資家のみなさまへ</a></p>
<b>お客さま</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全性・品質・先進性の高い製品・サービスの創出、適切な製品・サービス情報の提供、問い合わせ窓口の充実など</li> <li>● パートナーシップで生み出したソリューション・サービスの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客さま相談窓口、Webサイトでの情報提供</li> </ul>
<b>取引先さま</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業方針や資材調達方針の説明、表彰などを行う取引先さま懇親会、情報交換会の実施</li> <li>● CSR調達・グリーン調達の推進、人権デューデリジェンスの実施</li> <li>● 取引先さま製品展示会、セミナー、技術交流会(オンライン開催含む)などを通じたビジネス機会創出</li> <li>● 取引先さまから改善・要望などをご提案いただく「パートナーQU(Quality Up)活動」の推進</li> <li>● 社員との面談に関するご意見などをいただく「面談時アンケート」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 取引先さま懇親会</li> <li>▶ 情報交換会</li> <li>▶ 取引先さまへのCSRアンケート、往査</li> <li>▶ 取引先さま製品展示会</li> <li>▶ パートナーQU活動</li> <li>▶ コラボレーションルームの設置</li> <li>▶ 面談時アンケート</li> </ul>
<b>社員</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社員エンゲージメントの確認と改善</li> <li>● 企業倫理に関する実態把握と改善</li> <li>● 職場環境とコミュニケーションの改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 従業員満足度調査(年1回)</li> <li>▶ 倫理アンケート(年1回)</li> <li>▶ ヘルプライン(通報・相談窓口)の設置</li> <li>▶ 上司と部下の役割共有面談の実施(年2回)</li> </ul>
<b>地域社会</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「青少年教育との連携」、「地域社会への貢献」、「環境保護活動(生物多様性保全)」を3本柱とした地域密着型の社会貢献活動を展開</li> </ul>	<p><a href="#">WEB 社会貢献活動</a></p>
<b>NGO・NPO等</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム(JPF)との災害発生時の情報共有、寄付</li> <li>● 障がい者アーティストの経済的自立や社会参画を支援している(一社)障がい者自立推進機構のパラリンアートに協賛</li> <li>● 気候変動対策を推進するイニシアチブとの連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ウクライナ人道支援寄付</li> <li>▶ TCFD<sup>®</sup>への賛同、電機・電子温暖化対策連絡会との情報共有</li> <li>※ Task Force on Climate related Financial Disclosures：気候関連財務情報開示タスクフォース</li> <li>▶ パラリンアート協賛を継続。作品5点を社内展示</li> </ul>
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESGに関する評価機関、報道機関とのコミュニケーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 各種ESG調査・アンケートへの回答および評価内容に関する意見交換</li> <li>▶ CDPへの回答</li> </ul> <p><a href="#">WEB ESGインデックスへの組み入れ状況、外部評価</a></p>

## ESGハイライト

アンリツはステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションと協働により、グローバル社会のサステナビリティの実現に向けて取り組んでいます。

### ローカル5Gの普及に貢献するパートナーシップ

#### AK Radio Design 設立

アンリツは、株式会社構造計画研究所との共同出資により、AK Radio Design株式会社を設立しました。ローカル5Gの導入・運用に関連したさまざまな課題を解決するために、シミュレーションと実測が融合したサービスを提供しています。AK Radio Designは、総務省のローカル5G実証事業に参加している複数のプロジェクトから受注するなど、パートナーシップの成果を上げています。

#### VOICE

アンリツカスタマーサポート株式会社 春口 亮・助川 凡夫

実測は、アンリツカスタマーサポート株式会社が請け負っています。アンリツ製の測定器を用いて、ローカル5Gの電波の状況を見える化し、実測現場でお客様と共有し、後日実測結果と考察を提供しています。植生や建造物、地形などの影響でシミュレーション結果と実測結果が異なることも多く、よりの確なエリア設計につながっています。



### 共生社会の実現に向けて

#### ハピスマ設立

親しみやすく、柔らかく、温かみのある雰囲気、そしてさまざまな人がいて会社がり立っている、そんな会社で障がいのある方にも働いていただけるようにしたいとの想いを込めて、株式会社ハピスマを2021年9月にアンリツ株式会社100%出資のアンリツグループ会社として設立しました。現在の主な業務は石鹸製造です。

同社は2022年1月に障害者雇用促進法に定める特例子会社の認定を取得しました。



#### VOICE

株式会社ハピスマ 代表取締役社長 齋藤 憲一

社名のハピスマは「Happy & Smile」に由来し、笑顔がモチーフのロゴは親しみやすく、柔らかく、温かみのある雰囲気、さまざまな人がいて成り立つ会社であることを表現しています。モットーである「決めつけない」「あせらない」「あきらめない」を大切にし、社員が笑顔で幸せに働ける職場づくりを進め、社会のサステナビリティに貢献できる企業を目指してまいります。



### 共に地域の感染対策を

#### アンリツマスクと職域接種

アンリツは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、不織布マスクの製造設備を導入し、社内で製造しています。社員、お客さまなどへの配付に加え、厚木市や厚木市をホームタウンとするサッカークラブ（はやぶさイレブン）など、これまでに20万枚以上を寄付しています。はやぶさイレブンには選手・スタッフ用に加え、地域の皆さまに使用していただく分も含めて寄付し、感染防止対策に使用されています。また、ワクチンの職域接種では、社員の家族も対象に含め、市内の病院の協力を得て実施しました。



#### VOICE

アンリツ株式会社 水橋 豊 アンリツ健康保険組合 山木 和義

新型コロナウイルス感染症対策では、「できることはすべて対応し、社内では絶対に広げない、お客さまに迷惑をかけない」という想いが対策チームで共有されました。自社製マスクの製造はこの象徴だと考えています。ワクチンの職域接種も3回行いました。チーム一丸となって会場での感染予防対策を行いました。社員の家族も対象にしたことから、地域での感染予防に貢献できたのではないかと考えています。

